

地区ロータリー財団奨学金・学友委員会

委員長 簡 仁 一

(茨木RC)

日 時 : 2007年9月8日(土)14:30~17:45

場 所 : 薬業年金会館

出席者 : 新谷秀一ガバナー・佐藤俊一地区ロータリー財団委員長

地区財団奨学金・学友委員会

2008~09年度国際親善奨学生候補者(6名)及び顧問ロータリアン

2007~08年度受入国際親善奨学生・文化研修生の顧問ロータリアン

PSC(奨学生のOB)会員(6名)

委員長の開会の挨拶・出席者紹介に続いて、新谷ガバナーより奨学生に選ばれた6名の候補者にお祝いの言葉を贈り、激励されました。

奨学生候補者並びに顧問ロータリアンが自己紹介をおこなった後、委員長から「ロータリー財団及び国際親善奨学金プログラム」について、栢本副委員長から「国際親善奨学生の責務と顧問ロータリアンの責務」について話しました。

その後、新谷ガバナーから国際親善奨学生の認定書の贈呈と、顧問ロータリアンへの委嘱状が手渡されました。

休憩を挟んで、今年度予定されている2名の国際親善奨学生、4名の文化研修生の受入顧問ロータリアンの皆様に、佐藤地区ロータリー財団委員長が「受入顧問ロータリアンへ責務と注意事項」について話され、新谷ガバ

ナーに「ロータリーとは」のテーマで奨学生候補者に対し、講話をして頂きました。

続いて、山下委員より学友会についての話、PSC牧尾会長と会員の皆様からのアドバイスがあり、質疑応答の後、無事、閉会致しました。

その後、PSC主催の歓迎会が開催され、8月に帰国したばかりの3名の奨学生から帰国報告がありました。

国際親善奨学生はご存じのように、6月に選考され、1年間のオリエンテーションを終了して、来年の8月に出発します。その後1年間ないし2年間の留学をされて帰国します。その間、顧問ロータリアンの皆様には大変なお世話をして頂きますがよろしくお願い致します。

